

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

木川小	学校	児童数	65
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.17	18.56	27.92	38.72	57.08	9.86	158.86	22.91	51.15
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.69	16.66	31.17	36.76	40.59	10.09	140.45	12.55	51.14
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子：体力合計点について、全国平均を1.87下回った。「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」では全国平均を上回ったが、そのほかの種目では、全国平均を下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、肯定的な回答が91.7%で全国平均より1.7ポイント低い結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は9.4%で、全国平均より0.4ポイント低い結果となった。

女子：体力合計点について、全国平均を2.83下回った。「握力」「20mシャトルラン」では全国平均を上回ったが、そのほかの種目では、全国平均を下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、肯定的な回答が89.6%で全国平均より3.8ポイント高い結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は30.7%で、全国平均より13.4ポイント高い結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

種目別に全国平均と比較すると、「長座体前屈」と「50m走」が男女共に大きく下回っており、柔軟性とスピードが本校の課題となっている。昨年度に引き続き、「握力」「20mシャトルラン」は男女共に上回っており、運動特性として力強さを発揮する部分や持久力で本校の優位性を示している。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、全国平均と比較すると、男子が若干低く女子が高い結果となった。「体育の授業は楽しいですか」の質問でも、同様の結果であった。年間を通して体育週間等の取り組みを充実させることができ、高学年の体育科の授業を専科教諭が担当することとなり、子供たちの意識にも変化が表れたものと考えられる。

今後も、より質の高い体育授業を目指して教員の資質向上に取り組み、達成感や充実感が得られるよう工夫し、運動やスポーツに対する興味関心を高めていく必要がある。